



自

分

探

し

の

軌

跡

オチ・キクハル展

2013年 4月27日(土)~6月9日(日)

どこに向かうのか、オチ・キクハル。
様々に変化する画風の向こうに、自分探しの軌跡を見る。

休館日：月・火曜日（祝日は開館）

開館時間：午前9:30~午後5:00（入館は午後4:45まで）

入場料：一般600円（前売り400円）、高大生300円、中学生以下無料

主催：ミウラート・ヴィレッジ（三浦美術館） 協賛：株式会社ミウラ

後援：愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

作品：青のファンタジー

MIURART VILLAGE
MIURART



丘の道 1986年



北の家族（個人蔵）1986年



釣り船の少年は見た 1972年



粟（西条中央病院蔵）1995年



新世界へ 2012年



黒いマントの女 1979年



無言語（愛媛県美術館蔵）1975年



公共の交通機関をご利用の場合

- ◆JR松山駅より市内電車にて松山市駅へ、伊予鉄バス北条行き「内宮バス停」又は「花見橋バス停」下車 徒歩約10分
- ◆松山空港より車で約30分

自分探しの軌跡

オチ・キクハル展

このたび、ミウラート・ヴィレッジでは「オチ・キクハル展～自分探しの軌跡」を開催いたします。

オチ・キクハル氏は1948年に宇和島市・津島町に生まれ、今年65歳を迎えます。オチ氏はおよそ30年間の北海道での制作活動を経て故郷に戻り、新境地を切り開き、新しい制作にチャレンジしております。

今展は、高校時代に描いた作品をはじめ、家業を継ぐ決意をしつつも芸術の道へと導かれた時代（越智喜久春）、北海道の地でその風景に魅せられ描き続けた時代（越智紀久張）、そして現在（オチ・キクハル）の作品を展示し、氏の歩んで来た軌跡を辿る展覧会です。名前をそれぞれの時期に変えてきておりますが、その理由がはっきり理解できるほど作品は変貌し、衝撃を与えています。一人の作家から生まれたとは思えないその画風の変化は、氏の歩んできた軌跡をまさしく現わすものであり、自分を探し続け向き合ってきたことを、作品を通して感じていただけるものと思っております。

「オチ・キクハル」と名前をカタカナに変えてからの作品の中にあふれる奇妙な曲線の生態は、今後、益々力を帯びて生まれ出てくることでしょう。そしてその先、また新たな境地に到達し、誰もが想像もつかない世界が描かれるはずです。オチ・キクハル氏の軌跡、そしてこれからに思いを馳せながらご鑑賞いただければ幸いです。

ミウラート・ヴィレッジ

次回展覧会

M.コレクション展Ⅳ
2013年6月16日(日)～7月15日(月・祝)